



令和4年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ
長野高等学校 学校長だより
(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和4年
No 1 4
12月9日(金)

大活躍する長野高校の生徒の皆さんです。

ECC班が第30回長野県高校生英語ディベート大会において準優勝し全国高校生英語ディベート大会へ8年連続出場することとなりました。PDAの全国大会とともに12



ECC班の皆さんと顧問の先生方(徳田・矢澤・ジョナサン先生)

月に行われる大会で全国の強豪校と対戦して実力を発揮し、活躍することを祈念しております。おめでとうございます。そして全国大会に向けて頑張ってください!

3年宮本隼佑さんが全国高校化学グランプリ2022一次選考会において「東海支部長賞」を受賞しました。これは支部5県の中で特に優秀だった参加者に贈られる賞で長野県では一人いるかないか、というレベルの賞だそうです。素晴らしい成績です。おめでとうございます。



宮本さんにご指導頂いた小池・相馬先生

3年野池真緒さんがエンリッチメント大賞2022において「ゴイサギのための採食エンリッチメント水槽」で正田賞を受賞しました。すでに信濃毎日新聞社等のメディアでも紹介されているので知っている方も多いと思います。野池さんは本校のNGP課題研究で昨年の2年次に優秀な研究・発表として表彰されていましたが、その研究をさらに深めていったということです。おめでとうございます。



野池さんと表彰の盾

1年田中小弓さんが第17回長野県高校生スピーチ・レシテーションコンテスト(清泉女学院大学主催)のレシテーション部門で優勝し、長野県知事賞を受賞しました。田中さんは7月に実施された第11回長野県高校生英語レシテーションコンテスト(高文連主催)でも優勝しています。得意な理由は?と聞いてみると、「自分は英語で表現することのほかに、演劇みたいに演ずるということが好きなので、このレシテーションは自分に合っているのかな、と思います。」とのこと。もちろんしっかりと努力した結果だと思います。おめでとうございます。



田中さんと表彰のカップ等

生徒も先生も全員が学校の代表

12月1日の朝、以下のようなメール（概要）が学校に届きました。

「私は長野電鉄を利用しているものです。今朝、目の前に70代後半のご夫婦が立っているのに席を譲らず隣の女の子と話している男子学生がいました。女子は信濃吉田で降りました。その席に、周りに促され奥様が座りましたが男子学生は座ったまま。本郷で学生が立ったときパーカーの後ろには大きく長野高校の文字。恥ずかしい。長野高校は今でも北信では憧れの高校ではありませんか？勉強だけでなく、もっと教えて頂きたい事がある様に感じました。近くにいたら声をかけましたが、満員の中、本日は遠くに居たため声をかけられませんでした。将来は地域のリーダーになる子が沢山いらっしやると思います。宜しく御指導お願い致します。」※アンダーラインは宮本加筆

メールを送信した方は、長野高校に期待をしてくれています。しかし、その期待が裏切られた思いからのメールと推察します。この男子学生(生徒)にも、「勇気がなかった、恥ずかしい」との事情があったかもしれません。実際はわかりませんが、**皆さん一人一人の行動や立ち振る舞いが長野高校のイメージを作り上げる**のです。これは生徒の皆さんだけではなく、私を含めた先生方や学校に関係する人すべてに言えることです。メール送信した方が「リーダーたる者は……」との思いがあれば、それはなおさらです。**自分が社会から期待された存在であるという認識と、規範意識を実践する勇気・自覚を生徒の皆さんに求めると共に、私を含め先生方も再自覚していきましょう。**



防犯カメラ(班室棟に向けて)を設置しました。

今年度当初に班室棟で盗難事件が発生しています。それをきっかけに防犯カメラ設置の方向を検討しておりました。大変遅くなりましたがPTAのご支援で過日、写真のように設置することができました。ピロティ北西隅の柱に2台のカメラが班室棟に向けて設置されています。とは言え、班室は複数の生徒さんが利用するので、今後も鍵の管理や貴重品の管理は各自あるいは各班でしっかりやってください。実際にこのカメラを利用することがないように願っています。



2年研修旅行、APU学長からご挨拶、個人的にお話をさせていただきました。

立命館アジア太平洋大学（APU）とは連携協定で、教授等に来校いただき課題研究のアドバイスや講演をしてもらってきた経緯があります。今回模擬授業の前に学長から生徒さんにご挨拶頂きましたが、**学長の出口治明氏**は日本生命にお勤めの後、「**ライフネット生命**」を創業された方で、海外業務の経験も豊富で、著書は多数あり、複数の政府の審議会委員も務められていました。残念ながらご病気をされて現在職務に復帰されながらリハビリをしている状況です。令和元年8月に須坂市メセナホールにて信州岩波講座で出口学長が講演された後、**本校OBの牧野浩文先生（APU客員教授・元日本コカ・コーラ株式会社副社長）**の計らいで夕食を一緒に懇談する機会がありました。今回は3年振りにお会いできました。懇談後に11月に刊行された最新の著作を頂きました。また、昨年もですが、APU国際生との交流に係る費用（国際生への報酬）は牧野先生のポケットマネーから支払われています。この場を借りて御礼申し上げます。



(左)出口学長と (右)APUに掲げられた校旗と近著『一気読み世界史』